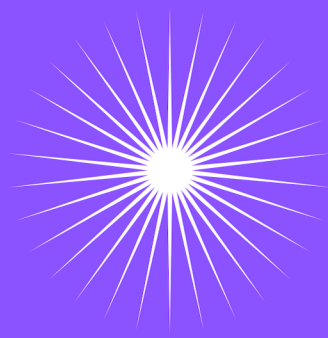


親あるあいだの語らいカフェ

不登校・ひきこもりを 考える座談会



わが子や親戚、身近な人が、突然、学校に行かなく/行けなくなったり、自室にとじこもって外に出られなくなったりしたとき、一度はこんなふうを感じるかもしれません。

「うちの子（あの人）のところが弱いから…？」

「普通」のルートから外れずにいることが「がんばっている」ことで、それが「ところが強い」ということになるのでしょうか。

でも、「がんばりすぎる」のは「ところが壊れる」からよくないとも言われますね。

強いとか弱いとかの評価はいったん横に置いて、ところを丁寧に扱うために、ところってそもそもなんなのか、ところが育つとはどういうことなのか、考えてみませんか。



講師・相談員 **渡邊 充佳**

1983年生まれ。2008年7月より約9年間、兵庫県川西市の人権救済機関「川西市こどもの人権オンブズパーソン」相談員として、学校生活や家族関係に悩む子どもの声を聴き、問題解決を支援してきた。

その後、短大教員、放課後等デイサービス職員を経て、2023年11月より、「ところ・からだ・暮らし相談室ハルジオン」を開設。

社会福祉士・公認心理師。

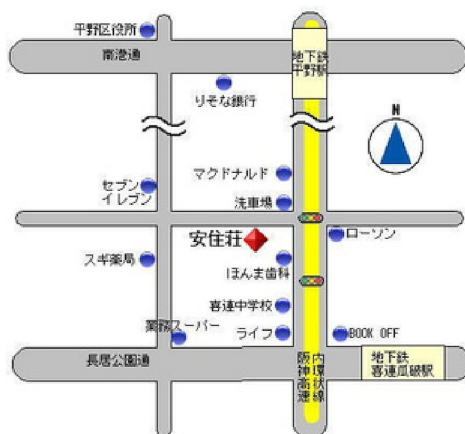
6月19日(水) 14時～16時

あかんのん安住荘
(大阪市平野区喜連西5-4-14)

参加費無料・申込不要

参加者同士で語り合うのもOK
相談員と個別に話すのもOK

※希望者多数の場合、個別対応が難しい場合もあります。



第2回
「ところがどいつして育つのか」



お寺と教会の
親なきあと相談室 あかんのん安住荘支部 ☎ 06-6796-7260